

## ロシア

### 好調続くロシア経済

ロシア経済は、好調を維持している。上半期の実質GDP成長率は前年同期比4.2%であった。設備投資、個人消費とも好調であり、経済成長を引っ張っている。もちろん、これらの好調な数字は、2009年の落ち込みの反動であることに留意しなければならない。大きなトレンドとしては、経済が過熱状態にあった2008年の水準には達していないが、2007年と同程度の経済状況にあると理解するのが妥当だろう。

不安要素は国内需要の海外流出である。貿易全体の規模が拡大する中で、足元では輸入の伸び率が輸出を上回り始めた。単月の貿易黒字は、年当初は150億ドル程度で推移していたが、8月には100億ドルを下回り、83億ドルとなった。経済成長の牽引力の一つである設備投資に関しても、機械設備輸送機器類の輸入は1～8月の合計で35.6%増加（対前年同期比）した。これに対して、国内の機械設備生産は13.6%の増加（1～9月累計、対前年同期比）に留まっている。こうした傾向は、衣類など消費財の分野でも見られる。結果として、第3四半期のGDPは前期比0.7%のマイナス成長（季節調整済み）だった（経済発展貿易省の独自推計）。経済規模は拡大していく中で、ロシアの産業の国際競争力不足という構造問題がどのように解決されていくのか注視していく必要がある。

### 2011年予算

2011年から3年間の予算案は、9月30日に政府から国会に提出され、審議が進められている（以下、「2011年予算案」という）。

大枠を見ると、2011年の歳入8.8兆ルーブルに対して、歳出10.7兆ルーブルを計上しており、赤字幅（1.8兆ルーブル）はGDPの3.6%と見込んでいる。2010年予算の赤字幅（GDP比5.3%）からかなり改善する。赤字幅と同時にその補てんの資金源も大きく変わる。2010年予算では、「予備基金」からの繰入がGDP比3.2%あったが、2011年度には

同0.6%しか繰入を行わない。しかも、これで基金がほぼ底をつくことから、その後の赤字補てん財源にはなりえない。代わりに、2011年以降の財源となるのは、国債発行の増額のほか、国営企業の大規模な民営化である。外国貿易銀行、ロスネフチなど大手企業を含め、約900社の政府保有株の一部を2015年までに売却する方針で、1.8兆ルーブルの収入を見込んでいる。

なお、2011年予算案の前提となった中期経済見通し（経済発展貿易省作成）では、各年の経済成長率を3.9%～4.5%と予測している。2011年の固定資本投資を10%増としている点が特徴的である。ロシア経済に大きな影響を持つ油価については、今年と同レベルの75ドル/バレル（「ウラル原油」）から79ドル/バレルに緩やかに上昇するものと見込んでいる。その上で、各年の総輸出額は3,890億ドルから4,320億ドルへ、総輸入額は2,770億ドルから3,340億ドルへと増加し、この間に貿易黒字の額は年間1,000億ドル程度へとやや減少するものとしている。総じて言えば、投資の活発化を通じて、徐々に内需主導型の経済へ移行するとのシナリオである。

### 国勢調査

日本など多くの国と同じように、今年はロシアでも国勢調査の年に当たる。10月14日を基準日とし、14日から25日までの調査期間に調査員が各戸を訪問するなどして、調査を行った。調査項目は、世帯構成、住居の状況のほか、各世帯構成員の国籍、民族、学歴、言語、収入源、就業状況、移動（転居）歴などである。調査の結果は、2011年4月以降、2012年にかけて、順次公表される予定となっている。

ウラジオストクなど人口移動の激しい都市では、通常用いられている公式統計の人口が必ずしも実態を表していないと言われる。今回の国勢調査の結果がどのようなものになるか興味深い。また、ロシア連邦になってから実施される2回目の国勢調査であり、前回（2002年）の国勢調査との比較により、地域経済に関する様々な分析が進むことも期待される。

（ERINA調査研究部研究主任 新井洋史）

（対前年同期比）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010（四半期）			2010（月次）		
						1Q	2Q	3Q	7月	8月	9月
実質GDP	6.4	7.7	8.1	5.6	▲ 7.9	3.1	5.2	—	—	—	—
固定資本投資	10.9	16.7	21.1	9.8	▲ 16.2	▲ 4.1	5.3	7.3	0.8	10.9	9.4
鉱工業生産高	5.1	6.3	6.3	2.1	▲ 10.8	9.5	10.9	6.4	5.9	7.0	6.2
小売売上高	12.8	14.1	16.1	13.5	▲ 4.9	1.7	5.3	5.9	6.7	6.5	4.7
実質可処分所得	12.4	13.5	12.1	1.9	2.3	7.4	3.2	4.2	6.2	5.1	1.5
消費者物価*	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	3.2	4.4	6.2	4.8	5.4	6.2
工業生産者物価*	13.4	10.4	25.1	▲ 7.0	13.9	2.7	5.5	8.2	6.2	9.6	8.2
輸出額（十億ドル）	243.8	303.6	354.4	471.6	303.4	92.3	97.6	—	32.0	32.1	—
輸入額（十億ドル）	125.4	164.3	223.5	291.9	191.8	45.7	58.2	—	21.0	23.8	—

\*前年12月比。

\*\*斜体は暫定（推計）値

出所：『ロシアの社会経済情勢（2010年9月号）』ほか、ロシア連邦国家統計庁発行統計資料